

ドクターからの健康アドバイス

小児の 鼠径ヘルニア



愛染橋病院 小児外科
谷 岳人

当院が行う治療法

手術の方法には、昔から行われている鼠径部から行う従来法と腹腔鏡で行う方法があります。近年、女児については多くの施設で腹腔鏡にて行われるようになりました。男児についてはヘルニア嚢に精巣を行く血管と精子が通る精管がひつついているため、腹腔鏡で行う場合は熟練の操作が必要になります。そのためまだまだ多くの施設で従来法にて行われています。

当院では男児・女児ともに腹腔鏡で行なっております。手術は従来法と同じように安全に行なっており、手術の傷もほとんど目立ちません。また、鼠径ヘルニアの手術は日帰りなので、病院に泊まる必要はありません。鼠径ヘルニア以外の疾患でも日帰り可能なことがありますので、気軽にご相談いただければと思います。

鼠径ヘルニアの原因と症状

みなさん、こんにちは。今回は小児の鼠径ヘルニアについてお話をしたいと思います。

小児の鼠径ヘルニアは小児外科疾患の中では一番多い疾患になります。よく脱腸と言われる疾患です。

鼠径ヘルニアの症状は、腹圧がかかった時に鼠径部の膨隆または陰嚢の膨隆を来します。

この膨隆は腹腔内の腸管または大網とよばれる腹腔内の脂肪を含む組織がヘルニア嚢と呼ばれる巾着の袋のような

ものに脱出することにより起こります。女児の場合は卵巣が脱出して起こることもあります。膨隆があっても引っ込む場合は問題ないのですが、脱出した臓器がヘルニア嚢にはまり込んで戻らなくなる、嵌頓（かんとん）を来すことがあります。嵌頓を来すと脱出臓器の血流が阻害されるため脱出臓器が最悪壊死してしまうことがあります。鼠径ヘルニアで手術が必要な理由は、この嵌頓を予防することにあります。

